

平成30年度 予算のお知らせ

マクニカ健康保険組合の平成30年度予算が、平成30年2月22日に開催された第5回組合会において承認されました。
 予算と事業計画について、その概要をお知らせいたします。

一般勘定

保険料率 7.6% (千分の76) ※平成29年度と同率

予算の概要

設立3年目となる平成30年度予算規模は9億3,900万円となりました。
 収入支出予算の概要については以下のとおりです。

平成30年度収入支出予算概要表(一般勘定)

●収入

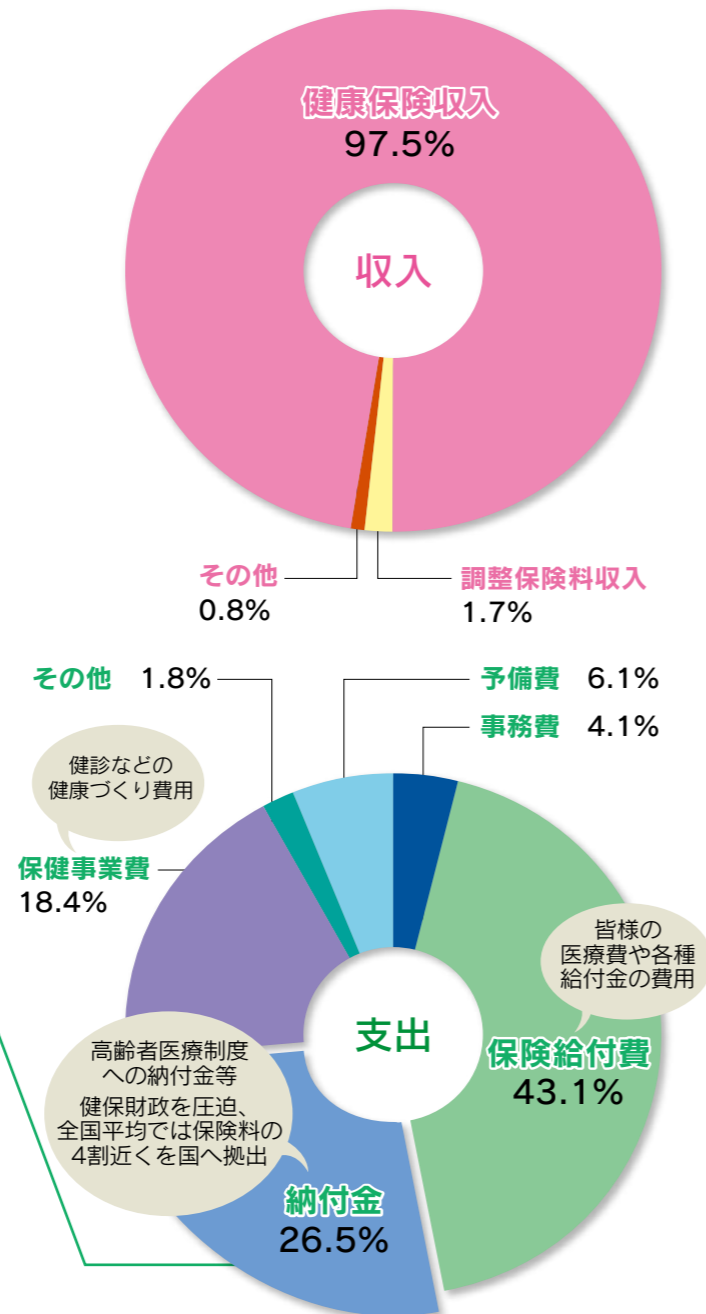
科目	予算額(千円)
健康保険収入	915,222
調整保険料収入	15,934
その他	8,001
合計	939,157

●支出

科目	予算額(千円)
事務費	38,805
保険給付費	405,039
納付金	248,950
保健事業費	172,220
その他	16,687
予備費	57,456
合計	939,157

納付金内訳(千円)

前期高齢者納付金	8,211
後期高齢者支援金	237,718
退職者給付拠出金	3,019
病床転換支援金	2



経常収支差引額 57,557

平成30年度保健事業について

以下の事業については、平成29年度の内容を継続します。

① 健診補助金制度を実施します。

●基本健診、生活習慣病予防健診、人間ドック、脳ドック、乳がん健診、子宮がん健診に対し、補助金を支給します。
 なお、人間ドックの補助額上限(オプション込み)を5万5千円から**7万円**に改定し、その他の健診補助額は平成29年度と同額とします。

※対象者: 基本健診…30歳未満の被保険者および被扶養者
 生活習慣病予防健診…30歳以上の被保険者および被扶養者
 人間ドック、脳ドック…35歳以上の被保険者および被扶養者
 乳がん健診、子宮がん健診…20歳以上の被保険者および被扶養者



② インフルエンザ予防接種費用補助を行います。

【補助額】4千円から**5千円**に改定します。 ※対象者: 被保険者および被扶養者

③ 特定健診・特定保健指導を実施します。

40歳以上の被保険者・被扶養者を対象に特定健診を実施します。健診結果を階層化し、いわゆるメタボリックシンドローム対象者の方へ、動機づけ支援・積極的支援の特定保健指導を実施します。



平成30年度からの新規事業です。

① データヘルス計画を策定し、当健保組合の医療費の削減を目指します。

データヘルス計画とは、国の成長戦略として医療情報(レセプト)や健診結果の情報等の分析に基づき、PDCAサイクルで効率的・効果的な保健事業を実践する取り組みです。

② コラボヘルスの推進【コラボヘルス: 事業主と協働で効果的な保健事業を実践する。】

データヘルス計画を推進する中で問題点を抽出し、保健師による保健指導の強化や新規協働事業により、重症化対策等を実施します。

介護勘定

平成30年度介護保険料率は、1.14%(千分の11.4)となり、平成29年度と同率です。平成29年8月から総報酬割(1/2)が導入されましたが、介護保険料率の引き上げを行わず、繰越金で対応します。

平成30年度収入支出予算概要表(介護勘定)

●収入		●支出	
科目	予算額(千円)	科目	予算額(千円)
介護保険収入	68,686	介護納付金	70,742
繰越金	7,000	介護保険料還付金	1
その他	2	予備費	4,945
合計	75,688	合計	75,688

=総報酬割とは=

各健保組合の加入者の総報酬額に応じて介護納付金を負担する方法。これまでは加入者数に応じて負担する方法(加入者割)でしたが、平成29年8月から総報酬割が1/2に導入され、平成31年度は3/4、平成32年度からは全面総報酬割となります。